

学生による医学教育学会での発表について

7月24, 25日に大阪で行われた第41回日本医学教育学会において医学科5年生の学生が『女子医学生による女性医師のキャリア継続・復帰と支援に関する調査』という演題で研究発表を行いました。

「医学教育学会に参加して」

医学科5年 栗田愛理 小堀優子 徳永真梨子

今回、医学教育学会に参加させて頂き、とても貴重な経験をすることができました。私たち女子学生が考える女性医師問題というのは、将来に対する不安でもあり、身近な女性医師の現状を知りたいという思いから調査を始めました。実際、佐賀大学附属病院での現状とこれから求められる取り組みについて知ることができ、附属病院の女性医師像というのが見えてきました。

そんな中参加した学会では、女性医師問題のセッションで全国各地の様々な調査発表があり、私たちが不安に思っていた『女性医師の将来』というのは、身近な問題であると同時に、医療全体の課題であるということを実感し、驚きとこれからの将来への期待を感じました。また、他のテーマのセッションなどを通して、調査の方法や形式などは様々であり、「機会があれば、是非この事について調べてみたい」「こんな風に調べたらもっと良かったかもしれない」など、勉強になる事が沢山ありました。

本当に貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。



今回の発表は4年生の社会医学実習で行った調査をさらに発展させたものです。このように学生の学習や研究成果の発表などについても今後支援・推進を行っていきたいと思います。

平成21年度オープンキャンパスについて

8月11日に高校生を対象とした佐賀大学医学部オープンキャンパスを開催しました。臨床大講堂において午前中は看護学科、午後は医学科の教員や学生による学部・学科紹介や体験談の紹介、平成22年度入試概要の説明などが行われましたが、本年度は例年以上に参加者が多く、午後の医学科説明会では立ち見の方も出たため、急遽、臨床大講堂に椅子を追加するほどの盛況ぶりでした。

説明会と並行してフリータイムでの医学部見学や模擬授業、模擬PBL、体験実習などが行われ、同様に多くの参加者が医学科および看護学科における学習を体験しました。



医療従事者不足が深刻な問題となってきた中、医学部の志願率は上昇してきているといわれますが、数の増加だけでなく、入学した学生に対し、より良い医療人の育成を目指して佐賀大学医学部における「教育」をさらに向上させていく必要があると考えます。

教育広報部会

小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、
江村正、藤田君支、阿部博美

ご意見をお待ちしています (oday@cc.saga-u.ac.jp)

